



第二中だより

No. 602

生徒数 525 名

令和 5 年 6 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「自分を磨く」

校長 橋本 真

6月、梅雨の季節を迎えました。歩道わきの花壇には、たっぷりの雨を吸った紫陽花の大輪の花を咲かせています。5月中は、1年生にとっては初めての中間テスト、そして体育祭が盛大に行われました。

6月17日(土)からは、学校総合体育大会が予定されています。

今週で4名の大学生の教育実習が終了します。そのうち3名が本校の卒業生で、二中の印象を「私たちの頃と比べて、生徒が真面目で礼儀正しく、向学心が旺盛で驚きました。挨拶もよくしてくれて、感動しました。改めて教師を目指す強い力をもらいました。」と話してくれました。

進路を考えるにあたって（進路説明会から）

ひとりひとりの生徒にとって、義務教育の終了後の進路実現に向け、「自分の進路をどうするのか」、「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学する、または就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」というようなことも視野に入れて考えてほしいと思います。学校では、判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、先生が加わって生徒・保護者の三者で相談を行います。相談は、生徒自身やご家庭の意向をふまえ、客観的な資料（学業成績・日常生活の様子など）に基づいて、現状で考えられる最もよい方向を共に考え、最終的に生徒自身の手でしっかりと決めてほしいと思います。人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければ

ならない場合があります。そんな時に本人がどのように対処していくかが、長い人生を有意義に生きていけるか、どうかの分かれ道になるように思います。私たちは、この人生最初の進路選択との出会いで、子どもたちが学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。まずは、今の自分をもっと「磨いて」ください。

体育祭を振り返って

今年の体育祭は好天に恵まれ、大きな怪我や事故もなく、大変すばらしい体育祭だったと思います。何よりも、当日は皆さんの多くの笑顔がたくさん見ることができて最高の日でした。3年生の活躍が、やはりすばらしかったと思います。3年間の成長を振り返り、一番嬉しく見ていたのは3学年の先生方だったと思います。私は、全校生徒が本気で取り組んだ立派な体育祭だったと思います。

競技に打ち込む本校の生徒の姿から、改めて、「やるべき時にできる生徒」、「失敗しても、何とか挽回しようとする生徒」であることを確信しました。前日から準備をしてくれた委員会の皆さんをはじめ、開会式・閉会式の運営に当たってくれた生徒会役員、生徒の皆さん、そして、体育科の先生方を中心にこの体育祭に尽力いただいた全ての方々から感謝します。本年度の体育祭は、達成感と大きな感動とともに、見事にやり切りました。お疲れ様でした。保護者の皆様、最後まで熱い応援をありがとうございました。

